



## 2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月8日

上場会社名	JUKI株式会社	上場取引所	東
コード番号	6440	URL	http://www.juki.co.jp
代表者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)	清原 晃
問合せ先責任者	(役職名)財務経理部長	(氏名)	南 大造 (TEL) 042-357-2211
四半期報告書提出予定日	2019年5月9日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 無		
四半期決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第1四半期の連結業績 (2019年1月1日～2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	25,753	0.4	1,349	8.7	1,103	16.6	727	55.2
2018年12月期第1四半期	25,650	8.2	1,242	△41.9	946	△57.8	468	△69.3

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 904 百万円 (—%) 2018年12月期第1四半期△668 百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	24.84	—
2018年12月期第1四半期	16.01	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第1四半期	119,450	37,252	30.6
2018年12月期	119,121	37,241	30.7

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 36,534 百万円 2018年12月期 36,529 百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2019年12月期	—	—	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年12月期の連結業績予想 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	114,000	1.7	7,300	△20.2	6,800	△18.9	5,000	△24.7	170.67

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

第2四半期累計期間の業績予想は未定としております。なお、通期の業績予想は為替の想定レートを1米ドル=105円として算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年12月期1Q	29,874,179株	2018年12月期	29,874,179株
2019年12月期1Q	578,443株	2018年12月期	578,403株
2019年12月期1Q	29,295,766株	2018年12月期1Q	29,296,344株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業を取り巻く経済環境、主要市場における政治情勢、為替相場の変動などが含まれます。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における事業環境は、米国経済が安定的に成長する一方で、中国における景気減速懸念、米中貿易摩擦や、英国のEU離脱問題などにより、世界経済は不安定さを増してきております。

一方、AI、IoT、クラウド等への関心が高まるなど、技術革新の動きはますます加速しており、デジタル化、システム化の活用等、スマートカンパニー・ファクトリーへのお客様の投資ニーズも高まっております。

このような環境認識のもと、当第1四半期連結累計期間においては、中期経営計画「Value up 2022」のビジョンである「お客様に選ばれる高品質な製品・サービスを提供しつづける企業」を目指し、“モノづくり”から“コトづくり”企業への転換を図ってきております。具体的には、お客様の省力化・省人化ニーズに合った製品・サービスの提供や工場全体の生産効率を高めるスマート工場などを提案するソリューション営業活動を推進するとともに、アジア市場を中心としたミドルマーケット開拓等による将来に亘る磐石な顧客基盤の構築、グループ事業等将来を見据えたビジネスカテゴリーの創出に取り組んでおります。

その結果、上記事業環境により中国など一部地域での売上は伸び悩みましたが、売上高は257億5千3百万円(対前年比0.4%増)となりました。

利益面につきましては、コストダウン等により収益率の改善を図り、営業利益は13億4千9百万円(対前年比8.7%増)、経常利益は11億3百万円(対前年比16.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億2千7百万円(対前年比55.2%増)となりました。

#### (主なセグメント別の概況)

##### ① 縫製機器&システム事業

市場別では、中国など一部地域での売上が伸び悩みましたが、アジアにおけるミドルマーケットやノンアパレルでの売上が堅調に推移したことなどから、縫製機器&システム事業全体の売上高は170億8千3百万円(対前年比0.1%増)となりました。一方、利益面においては、コストダウン等により利益率が向上し、セグメント利益(経常利益)は7億9千5百万円(対前年比43.6%増)となりました。

##### ② 産業機器&システム事業

産業装置では、中国での売上は伸び悩みましたが、新型マウンタやスマートファクトリー提案で展開する省力化装置等の売上が増加し、また、受託加工等のグループ事業でも顧客開拓が堅調に進んだことにより、産業機器&システム事業全体の売上高は86億7百万円(対前年比1.2%増)となりました。利益面においては、ソリューション強化のための体制強化・開発費の増加等により、セグメント利益(経常利益)は6億7千9百万円(対前年比17.7%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、たな卸資産が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ3億2千9百万円増加して1,194億5千万円となりました。負債は、短期借入金が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ3億1千7百万円増加して821億9千7百万円となりました。純資産は、為替換算調整勘定のマイナスが減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ1千1百万円増加して372億5千2百万円となりました。これらの結果により、自己資本比率は30.6%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間の見通しにつきましては、当面の為替影響や市場を取り巻く事業環境等が不透明であることなどから、現時点では未定とさせていただきます。なお、通期の業績予想につきましては、前回予想値からの変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,324	7,314
受取手形及び売掛金	33,465	33,045
たな卸資産	43,516	44,239
その他	2,825	2,828
貸倒引当金	△387	△480
流動資産合計	86,744	86,946
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,890	11,756
土地	6,362	6,362
その他(純額)	4,888	5,514
有形固定資産合計	23,141	23,632
無形固定資産		
投資その他の資産	1,992	1,970
その他	8,645	8,235
貸倒引当金	△1,402	△1,334
投資その他の資産合計	7,242	6,900
固定資産合計	32,376	32,503
資産合計	119,121	119,450
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,145	9,364
電子記録債務	5,140	4,622
短期借入金	35,901	39,849
未払法人税等	1,115	432
賞与引当金	38	634
その他	5,926	6,124
流動負債合計	59,266	61,027
固定負債		
長期借入金	16,153	14,876
役員退職慰労引当金	68	70
退職給付に係る負債	5,582	5,094
その他	809	1,128
固定負債合計	22,613	21,169
負債合計	81,880	82,197

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,044	18,044
資本剰余金	2,035	2,035
利益剰余金	19,610	19,458
自己株式	△607	△607
株主資本合計	39,082	38,931
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	458	491
為替換算調整勘定	△2,973	△2,841
退職給付に係る調整累計額	△38	△47
その他の包括利益累計額合計	△2,552	△2,396
非支配株主持分	711	718
純資産合計	37,241	37,252
負債純資産合計	119,121	119,450

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)
売上高	25,650	25,753
売上原価	18,276	18,057
売上総利益	7,373	7,695
販売費及び一般管理費	6,131	6,345
営業利益	1,242	1,349
営業外収益		
受取利息	12	9
受取配当金	67	72
貸倒引当金戻入益	120	6
その他	129	121
営業外収益合計	329	209
営業外費用		
支払利息	193	204
為替差損	427	237
その他	5	14
営業外費用合計	625	456
経常利益	946	1,103
特別利益		
固定資産売却益	1	4
特別利益合計	1	4
特別損失		
固定資産除売却損	12	3
特別損失合計	12	3
税金等調整前四半期純利益	935	1,104
法人税等	446	362
四半期純利益	488	742
非支配株主に帰属する四半期純利益	19	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	468	727

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)
四半期純利益	488	742
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△94	33
為替換算調整勘定	△1,059	137
退職給付に係る調整額	△2	△9
その他の包括利益合計	△1,156	162
四半期包括利益	△668	904
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△679	883
非支配株主に係る四半期包括利益	11	21



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法等を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用子会社は、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号（リース）を適用しております。当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報  
前第1四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	縫製機器 &システム 事業	産業機器 &システム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,065	8,505	25,571	78	25,650	—	25,650
セグメント間の内部 売上高又は振替高	237	104	342	106	448	△448	—
計	17,302	8,610	25,913	185	26,098	△448	25,650
セグメント利益	553	825	1,378	11	1,390	△443	946

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理事業等を含んでおりません。
- 2 セグメント利益の調整額△443百万円には、セグメント間取引消去△3百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益△440百万円が含まれております。全社損益は、主に各報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用及び各報告セグメントに帰属しない為替差損益等であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	縫製機器 &システム 事業	産業機器 &システム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,083	8,607	25,690	62	25,753	—	25,753
セグメント間の内部 売上高又は振替高	290	45	335	105	441	△441	—
計	17,373	8,652	26,026	168	26,194	△441	25,753
セグメント利益	795	679	1,474	13	1,487	△384	1,103

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理事業等を含んでおりません。
- 2 セグメント利益の調整額△384百万円には、セグメント間取引消去△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益△379百万円が含まれております。全社損益は、主に各報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用及び各報告セグメントに帰属しない為替差損益等であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。